

港区立高輪台小学校
平成 29 年度 授業改善推進プラン

教育目標

- 心もからだも健康な子
- ・すすんで学び がんばる子
- ・責任を果たし 助け合う子
- ・美しいものを 大切にする子

学校経営方針（学力向上にかかわる要点）

- 楽しく分かる授業作りを進め、基礎・基本となる学力の確実な定着を目指す。
- 新学習指導要領を踏まえた授業改善に努め、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、主体的・協働的な学習に取り組み、思考力・判断力・表現力等を育成する。
 - 校内研究を充実させ、主に理科・生活科の学習を通して、問題解決型の授業を目指す。
 - P D C A のサイクルで学習内容の計画的な指導、適切な時数管理を行う。

昨年度の成果と課題

- 読み聞かせや朝読書により、個々の読書量や読書の幅が広がった。図書ボランティアの参加も増えた。
- 基礎的な学習を積み重ねていくことで、漢字検定では目標級の合格を達成できた児童が多かった。
- 思考ツールは各教科の中で効果的に使えるようになりつつあるが、さらに実践と研究が必要。
- I C T 機器の環境整備をさらに進め、分かる楽しい授業づくりを目指す。また、活用実践について記録を蓄積し、共有化する。
- 指導と評価をこまめに記録することはできてきたが、学年の中での情報交換が必要。

本校の授業改善に向けた視点

教育課程編成上の工夫	指導方法・指導体制の工夫	評価活動の工夫	校内における研究や研修の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ○読書活動の充実 ○土曜日授業の活用 ○週案簿による計画と記録の記入 ○全校での漢字検定実施 ○オリンピック・パラリンピック教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本の確実な定着 ☆「主体的・対話的で深い学び」を意識した学習活動の充実 ○学習方法の定着 ○学び合いを重視した指導の充実 ○I C T 機器の活用 ☆プログラミング教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○思考や表現に関する細やかな評価のあり方 ○通知表における多様な観点からの表記 ○評価規準に基づいた指導と評価 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業改善に向けた授業分析と研究協議の充実 ○I C T 機器の活用 ▲互いの研修成果の共有・活用 	<ul style="list-style-type: none"> ☆外部人材の積極的な活用 ○幼小小および幼小中一貫教育の充実 ○家庭や地域への情報発信の充実

具体的な取組

<ul style="list-style-type: none"> ○朝読書や読み聞かせ活動の充実 ☆読書週間における全校での取組 ○土曜日授業の効率的運用 ○学習内容の計画的な指導と適切な時数管理 ○漢字学習の充実 ☆パラリンピアン等を講師に迎える授業 	<ul style="list-style-type: none"> ○3～6年算数科における少人数指導の実施 ○東京ベーシックドリルの活用 ☆自ら課題を見出し、見通しをもって課題解決を図り、調べた結果を整理し考察する主体的・協働的な学習の展開 ▲思考ツールの活用における論理的思考力・表現力の育成 ○ノート指導の徹底 ○児童相互の対話を導く学習過程、展開の工夫 ○学び合いの場としての掲示板の活用 ○I C T 機器（P C ・タブレット端末・デジタル教科書等）の効果的な活用 ☆ペッパーの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ▲学習の振り返りや適切な評価 ▲児童一人一人の学習活動の見取りと評価 ○日常的な評価の積み重ね ○小テストの実施等による評価と指導 	<ul style="list-style-type: none"> ○視点を明確にし、小グループを活用した研究協議 ○全教員参加による指導案検討 ○I C T 機器（P C ・タブレット端末・デジタル教科書等）の活用実践・検討 ▲研修成果のデータ化による活用 	<ul style="list-style-type: none"> ☆地域支援コーディネーターや読み聞かせボランティアによる活動の充実 ○地域の保育園・幼稚園や中学校・高等学校・大学との交流活動 ○学校公開・授業公開の実施 ○学校評議員会や学校説明会、保護者会での説明 ○年間計画に基づいたホームページの更新
--	---	--	--	--